

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

日東ベスト株式会社

寒河江市にある日東ベスト株式会社の若手社員、本田美咲さん取材しました！
本田さんは、山形大学大学院理工学研究科を修了後、2017年に入社しました。
現在は、試作開発部で勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在の仕事内容について教えてください。

試作開発部という部署で、主に焼き肉や牛丼の製品試作と開発を担当しています。営業担当者がお客様から「こういう商品がほしい」という要望を伺ったら、その内容にそって試作するという事です。

試作するときも、もともとある調味料を使えばいいわけではなくて、資材メーカーさんと連絡を取りながら、商品に合った調味料を探すこともしています。例えば、焼肉だったら醤油を使うんですが、いろいろな種類の醤油を使って焼肉に合う醤油はどれかといったことを検討します。



——例えば、地域によって味の好みが違うこともあると思うのですが……。

そうですね。営業担当からは関西風のすき焼きがいいとか、関東のほうのすき焼きがいいとか、そういう依頼があります。実際に食べてみて、そこからヒントを得ながら試作を進めています。



—— 一つの商品を開発するのに、どのくらいの期間をかけるのですか。

商品によっても違うのですが、例えばレギュラー品ですと、「こういうのがほしいんだよね」という企画が出てから、そこから試作を進めていくので半年くらいかかりますね。

新しく開発するものだけでなく、今ある商品のリニューアルというのもあります。だいたいは営業担当が、お客様から「ここ、もうちょっとこうだったらいいのになあ」とか、「もうちょっと変えられない?」という要望をもってきてくれるので、それをもとに毎年リニューアルしています。

他社の攻勢もあるので、他社よりももっと良くしていこうということもあります。商品の価格や見た目について、営業のほうから意見をもらって、こちらで検証していく感じですね。

—— 他社と比べたとき、日東ベストの商品の強みはどのようなところでしょうか。

味付けの方法というのがまずありますね。美味しいです！味や品質に関してはすごくこだわって作っていますので、そこが強みかなと思います。人の目で検品して、異物が入らないように安心安全を追求していますので、品質は他社に比べて高いという声もいただいています。

あとは、「温めて盛り付ける」だけでいいので、簡単に調理ができるのも魅力です。当社の商品は業務用が中心ですので、誰でも簡単に美味しくできることが大事だと思います。



—— 開発するときには結構、食べるのですか。

はい、食べます。トレーニングのように食べます（笑）。

私は惣菜向けの商品を試作することが多いんですが、お惣菜ってお客様が手に取る時には陳列してから 2~3 時間たった状態で手に取ることが多いと思います。その状態を作って試食することがすごく重要で、実際にお客様がそ

の状態を食べたときにどう思うかを確認します。ですので、盛り付けた 2~3 時間後に試食するようにしています。1人で食べても分からないこともあるので、班の皆さんにも試食してもらって、その後すぐにレシピを設計し直します。

——開発は、周りとのチームワークが大事なんですね。

そうですね。試作開発部では、朝にお茶を飲みながらコミュニケーションを取る時間があるんです。入社したときはびっくりしました。でもそれが大事だなと実感しています。例えば、班のメンバーや他班とコミュニケーションを普段から取っていると、分からないことをすぐに聞けます。入ったばかりのときはすごくありがたいとも思いました。一緒にお茶を飲んで話すことで壁がなくなり、困ったことがあったときに聞きやすくなるので、この時間って大事だと改めて思います。

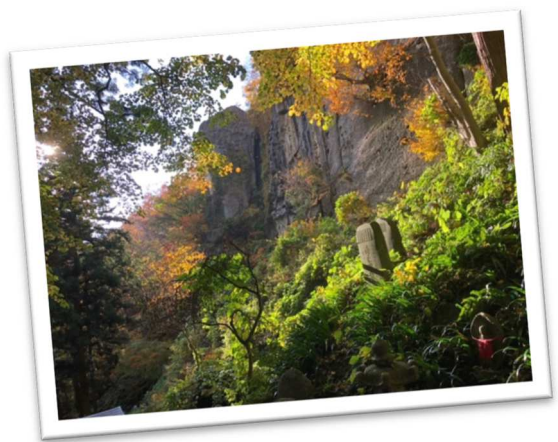
(2) 職場編

——茨城県出身で山形大学に入り、そこから日東ベストに入社したと伺いました。山形で就職しようと思ったきっかけは何でしたか。

私は工学部出身で、米沢に6年間住んでいたんです。米沢でまずびっくりしたのが雪！私の出身地では3センチ雪降ったら大雪だ～って騒ぐ感じでしたから（笑）。いきなりあの雪を見てびっくりしたんですけど、初めて雪灯籠とかを見て綺麗だなあって思ったんです。山形は綺麗なところだってというのが第一印象です。

山形に住み始めて、食べ物は美味しいし、空気も美味しいし、観光も綺麗なところがたくさんあって。毎年行く銀山温泉ですが、毎年綺麗だなって思います。今年はコロナで行けてないんですが、毎年この時期(10月下旬)には山寺に紅葉を見に行ったり。本当に山形って魅力的な場所が多くて、温泉もたくさんあって、すごくいいところだなあと思ったんです。

就職活動するときに「どうしようかな、地元に戻ろうかな」と思うこともあったんですが、山形に住んでもいいなと。やりたいことと山形に住みたいという思いが一致して、日東ベストで働いています。



——食品関係の仕事に、もともと就きたいと思っていたのですか。

そうですね。大学院のバイオ化学工学専攻というところで、化学や生物について研究していました。専門知識を活かした仕事がしたいと思って、どんなところで活かせるか考えたときに、食品や医療関係が思い浮かびました。

それで私は食べること、特にお酒がすごく好きなんです。特に山形ってお酒が美味しいですよ。ね。「お酒とか食べ物って人を幸せにしているいい仕事だな、それに携われたら私も幸せになれるだろうな」と思い、食品会社一本で就職活動をしました。



——山形にある食品会社の中で、日東ベストにした決め手はどういったところですか。

アットホームな雰囲気ですね。採用担当の方がすごく温かい感じで、ここに来たら楽しく仕事ができる幸せになれるなと思い、日東ベストに決めました。実際入社してみて、困っているときにすぐ手を差し伸べてくれることが多いです。だから、私も何か貢献できることがないか、どうしたらできるようになるかを常に考えるようになったので、自分が成長できる環境だと思います。

技術力が高い企業だということも理由の1つです。せっかく働くのであれば、学んだことと高い技術力で、山形に、そして世の中に貢献できないかなと思いました。

——実際に学んだことが活かせるシーンはこういったところにありますか。

食品って実は化学なんです。肉を焼いた後の香りですとか、それをどうやったら再現できるか、お店で食べる焼肉をどうやって化学の力で再現するかっていうのを考えて仕事しています。実際、ただ肉を焼いても肉の焦げた甘い香り、これをメイラード反応というんですが、化学の知識として分かっていないと再現できません。「美味しさ」ってどうやったら出せるのかというところに、学んできたことが活かした実感があります。

——入社してすぐの頃はどんな仕事をされていたのですか。

工場のことを知らないと試作はできないので、1年間は実際に工場のラインで作業して、モノづくりの基本を学びました。その後、試作開発部に配属になったときは、1か月ほど試作開発部の各班を回って、それぞれの作っている商品について学びました。それから焼肉班に入りました。その後は実際に、営業担当から来る依頼を先輩と一緒にこなすようになりました。



(3) ある日の過ごし方編

●8:00【朝礼・掃除】

出社すると、昨日使用した器具の片づけ、メールチェックなどをします。その後に朝礼です。

●8:30【コミュニケーションタイム】

昨日あった出来事や趣味の話などをして、部署内でコミュニケーションを図っています。

●9:00【試作】

営業から依頼のあった内容を確認し、試作を進めます。



●13:00【お昼休み】

お昼は食堂で食べます。

「社員食堂は、当社の主力商品を使っていて、今は定食と麺類の2コースあります。会社が補助してくれるので、1食220円で食べることができます。ご飯も盛り放題です！」



●14:00【試食準備】

午前中に作った試作品を盛り付けます。

●16:00【試食】

班全員に集ってもらい、試食品の検証をします。様々な意見をいただきます。

●16:30【試作品改良準備】

改良点をすぐに反映させ、設計しなおします。



●17:00【退勤】

退勤後は筋トレを1時間くらいします。終わり次第家事をして、寝るまでゲームをしています。

(4) むらやまでの暮らし編

——もともと住んでいた茨城県と今住んでいる山形県、どんな違いを感じますか。

結構違うところがあります。茨城では、海が近くて結構遊びに行っていたんですが、山形では鶴岡に行って初めて日本海で日が沈むところを見ました。いつもは海から太陽が昇るイメージが強かったんですけど、海に沈むのを見て感動しました。

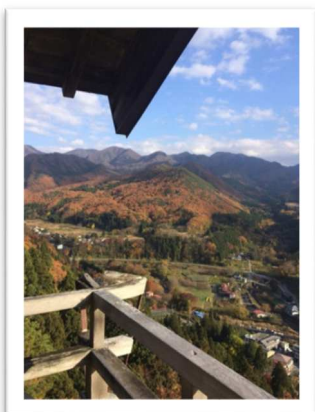


——茨城県から離れて、不安はありませんでしたか。

そんなになかったですね。最初、山形大学に入ったときは大丈夫かなって不安なこともありましたが、大学で友達ができたり、遊びに行ったりしていたら大丈夫だと思えてきました。

——お酒が好きということですが、どんなものを飲みますか。

日本酒もワインも好きです。山形、特に村山の方だと水戸部酒造の山形正宗が好きです。出羽桜も美味しいですね、品があって美味しいです。朝日町でワインを買ったりもします。休日はお酒巡りをしてる感じです（笑）。



——休日に出かけるときはどこに行きますか。

1人飲みが好きで、寒河江市のあたりをぶらぶらしていますね。「焼き鳥さらや」に行ったりするんですが、このお店は有名らしく、実家のある茨城の方でテレビに出ていたらしいです。最近はコロナで出かけられないので、出かけるよりも家で筋トレすることの方が多いかもしれません。

(5) まとめ編

——今後、お仕事をしていく上で目標はありますか。

これからどんどん後輩が増えていくと思うので、適切に指導したり皆を引っ張ったりできる人材になれたらと思います。いろいろな知識や技術を身に付けて、先輩方から吸収できるところはどんどん吸収して自分を高めていきたいです。

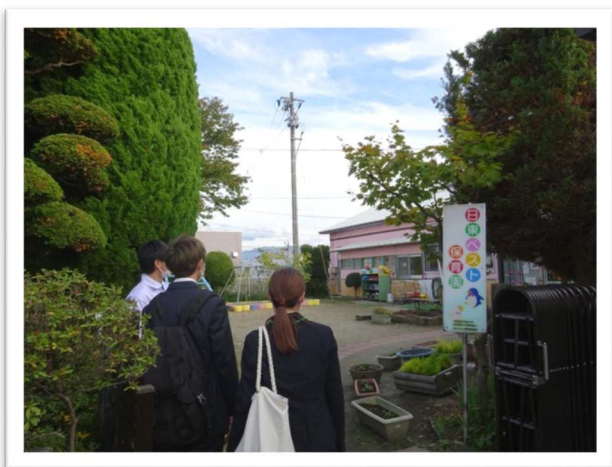


——これから関わってみたい商品はありますか。

好奇心があるので、いろいろやってみたいと思っています。デザートも楽しそうですし、当社は嚙下困難者向けの商品も扱っていて、そういうのも関わって見たら面白いのかなとか考えています。

また、開発の他にも、営業で実際にお客様の声を聞いてみたいと最近思うようになりました。商品を作るにはお客様がどう思っているかを大事にしないとイケませんが、試作にいるとお客様の生の声ってなかなか聞けないんですね。営業に携わって、直接聞いてみたいなども思っています。

——今後就職活動を行う方へメッセージをお願いします。



就職活動は、今まで生きてきた中で自分を見つめなおす機会だと思うんですよ。短所、長所、やりたいこと、どんな人生を歩みたいのか…、いろいろ考えると思うんです。自分らしさを隠さないで出していくことが大事なのかなと思います。自分では短所だと思うことも、ある場所では長所になったりもします。自分の短所・長所を受け止めて、自分らしさを忘れないで、自分に素直に就職活動をしたらいいのかなあと思います。

———ありがとうございました！

お仕事について生き生きと話される本田さんや、実際の試食での班の皆さんの笑顔が素敵でした。本田さんのような、より美味しいものを作ろうと日々頑張ってくださいる皆さんがいるからこそ、美味しくて品質の高い商品を食べることができるのだと実感しました。

また、インタビュー中にお聞きしたお酒を試してみたり、お店に行ってみたり、自分ももっと山形について知りたいと思いました。



【インタビュアー：
山形大学人文社会科学部 櫻井大智・後藤愛】

日東ベスト株式会社

【食品産業の分野において広く社会に貢献して参ります。】

業務用冷凍食品の業界において、トップクラスのシェアを占めており、特に食肉関連商品の開発・製造を得意とする中で“肉のベスト”とも呼ばれております。

★山形いきいき子育て応援企業優秀（ダイヤモンド）企業認定、厚生労働省子育てサポート企業認定、山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰、「子どもと家族を応援する日本」功労者内閣府少子化対策担当大臣表彰

- ・所在地 山形県寒河江市幸町 4-27
 - ・設立 昭和 23 年 7 月
 - ・従業員数 1406 名（男性 723 名、女性 683 名）
 - ・URL <http://www.nittobest.co.jp/>
-